考えさせられました。

加し、さまざまな職種で る事の他職種協働』に参

ていきましょう』という

よ。行動や声を持ち寄っ

ど、出来ることを出来る てのことは出来ないけれ ことが大切。ひとりで全

人がやる、役割分担です

とをしていけ

ひとりが自分の出来るこ

高市氏が首相になるかも う舵取りが出来るのか。 た。一人です

った民医連 して、全国

論理。トランプ台風に翻 う相変わらずな永田町の

弄される世界経済の流れ

にあって国民を見ずにど

はできないけ

れど、一人 べてのこと て感じまし

言葉が心に残りました。

が出来るので

はと思いま ていくこと 問題を少し ば、今抱え

る)。「次」を見据えてい すまい(やられても困

ずつでも変えて

ている社会の

ましい言動ほどにやれは

しれないが、今までの勇

テーマ別セッションで

した。

ければならないと改めて

代々木病院の理念

<医療・介護の実践



697

1部60円 友の会会員は会費に含まれ

東京勤労者医療会代々木病院

2025年

院長 河邉 博正 〒151−0051

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7 TEL 03(3404)7661 http://www.tokyo-kinikai.com/yoyogi

た。集会では、代々木病院精神科デイケア「ハー

動交流集会が東京ビックサイトで開催されまし

10月10~11日、全日本民医連第17回・学術・運

らのレポートと感想をご紹介します。

また多くの職員も参加しました。集会の参加者か

トビートコーラス」がオープニング演奏を披露。

朗作』三部合唱、

「もし

もあなたが雨に濡れ、言

いたなら、せめて私は手

歌~レ・ミゼラブルよ

いう場で苦手なことにチ

イケアの定番曲

い訳出来ないほどに傷付

中、本番へ立ち向かいま というプレッシャーの なければ重厚感は出ない ト同士が綺麗に調和をし 花、心に宿す」。各パー

られた」「個性が発揮で

しそうなイメージが伝え 台を終えメンバーは「楽

喝さいを浴びながら退場

いたから出来た」。拍手

きた」「(この病気は緊張

しやすいけど)大舞台と

した!そして三曲目はデ

を実感した一曲でした。

|曲目は『花~森山直太

音楽を完成させる楽しさ

く踏みしめてそれぞれの

り」。観客の方々と共に

ヤレンジし、

リハビリに

て歌いました。この大舞 未来の医療に願いを込め

なかったけど なった」「一

、みんなが

人じゃ踊れ

まる中、三曲の歌を披露

ました。一曲目は合唱

医連職員が千人

人規模で集

ニングとして、全国の民 運動交流集会」のオープ

団による合奏『ボレロ~

は「全日本民医連学術・

ハートビートコーラス」



-プニング演奏を披露した「ハ

精神科デイケア合唱団 10月10日、代々木病院 オープニングで精神科デイケア ハートビートコーラス」の演奏 ラヴェル作』。4月に練 習開始。好きな楽器、フ を結び風に綻ぶ花になり たい…人は今、大地を強 参加者の

ライパン、お鍋、足踏み ても表現でき複数の音で の身体で表現をする人、 とデイケアらしい!が第 蓋を開けてみたらいっぱ 等何でも叩いてよい、と しの楽器を握る人、自分 印象。楽譜を読めなく 圧倒され目頭が熱くなる メンバーのエネルギーに とは生きる事!」という ルに響き渡り、 による軽快な音楽がホ 木病院精神科デイケア ハートビートコーラス 開会の挨拶のあと代々 透析室 上條美恵 「歌うこ

黙って通り過ぎない」と となく声を上げていかな ばを黙って通り過ぎるこ のかを考え、不条理のそ 地に生きる人など様々な 迫害されている人、被災 でした。今でも紛争地で では、「不条理のそばを たち医療者はその事実と 形で不条理を強いられて して私たちに何が出来る しっかりと向き合い、そ いう言葉がとても印象的 いる人たちがいます。 戦闘地域で出会った少女 ッション別学習交流でし りました。午後からはセ の話から『非戦・人権・ケ 骨の収集の方、ガザでの 災者の方、沖縄戦没者遺 中で、福島県大熊町の被 リストの安田菜津紀さん た。私は『どうする?食べ て学び確信する機会とな アの倫理』について改め 材をしてきて見えてきた で、紛争地、被災地での取 しているフォトジャーナ

安田菜津紀さん(フォトジャーナリスト)が記念講演

ぶことが出来ました。

講演はメディアへ出演も て開催されました。記念 人権・ケアの倫理」とし ない。知るから知らせる されている方、ガザ地区 のそばを黙って通り過ぎ ながら話してくださいま 身が撮影した写真を見せ の少女のお話などをご自 長年戦没者の遺骨収集を 日本大震災でお子さんを せられました。『不条理 けなかったのかを考えさ 菜津紀さんの講演で、 い人達が死ななければい した。なぜ死ななくてい しくされた方、沖縄県で 診療部事務 浦山いずみ ジャーナリストの安田 り、 の仲間がいること、繋が に同じ志をも 集会に参加 絆を改めて

津紀さんによる記念講演 ジャーナリストの安田菜 のを感じました。フォト

> 職種連携することで患者 が向上した事例などを学 取り組まれてきたこと、 ・利用者の喜びやQOL 賀信夫先生の は。字供の人 ら権利保障へ

の判断すらないのが理想 変わっていてもいい、認 の根本は、弱くてもいい、 とが大切だと学びまし 訴えること、 ン』に参加しました。志 守るソーシャルアクショ ではないかと仰っていま 弱いや変わって の両輪を同時に づいた社会運 で、選別する貧困対策か した。 め合う多様性 た。社会政策

栄養課

強でした。(精神科デイ のキラキラし した彼ら彼女 武藤千絵) 戦いと運動 ているなど 。さらには • 社会福祉 に進めるこ 動によって 、権利に基 権と未来を た笑顔は最 らの控室で 記念講演

千駄の萱

る。まさかの連立崩壊が どこも踏み切れないでい 盾に陥るわけで、まだ維 る。自民党批判をしてき ていると思うが、野党連 自公連立崩壊に伴い勃発 ぐるし過ぎる。石破退陣、 が、こういった情勢に共 生み出したカオスである らしく、色気を出しつつ は連立入りすれば自己矛 た他のポピュリズム政党 なる混乱の序章とも思え らかであり、これはさら を担う力量が無いのは明 上は自民を批判してきた と呼ばれながら、うわべ ろう。自民党の補完勢力 の号が出る頃には決着し した様々な勢力争い。こ 在のパワーゲーム」とい 通しているのは「国民不 新ほど面の皮は厚くない れかもしれないが、国政 維新の会がついに連立に 合政権の成立は難しいだ 舵を切った事は自然な流 間情勢を書い からの数ヶ月 だが、その後 たばかりなの の動きがめま 9月号で春